



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニ ュ ー ス

令和2年度 No.3 第 135 号 令和3年1月26日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 齋 藤 洋 平
印刷 (株) チ ュ ー エ ヅ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.org/>

富山県作業療法士会会員数:666人

新たな年、新たな社会に向けて

一般社団法人 富山県作業療法士会 会長 齋藤 洋平（南砺市民病院）



会員皆さんには、大変なご苦勞と不安のなかで、職務に当たられ、また生活されていることとお察し致します。また、1年間がどのような社会になるのか、期待と不安で迎えた年

ではないでしょうか。

昨年は、未曾有のコロナ対応が求められ、県士会事業の中止または延期、開催方法の変更など、会員の皆様には大変、ご迷惑をお掛けしました。思い返せば、2月の富山県作業療法学会が無事に開催され、学術的研鑽と会員相互の連携がコロナ禍においても重要であることを実感しました。一方、東海北陸学会は一年延期の対応とさせていただきました。県を跨いだ移動が制限されるなか、水島運営委員長の英断でした。現在、2021年12月11日12日の開催に向け、新たな開催方法やプログラム等について、準備委員会にて検討中です。

変わらずに精力的に取り組んでいる事業もあり、6月の臨床実習指導者講習会は、富山リハビリテーション医療福祉大学校の協力の元、全国初のWEBで開催され、現在では、協会と全国の士会において、華々しく展開されています。新

たな時代に向け、先進的な取り組みが、富山県士会から始まったことへの誇りと運営に携わった方々に感謝の意を申し上げます。介護ロボット事業では、富山大学や県関連団体と話し合いを進め、コロナ禍において、より関心が持たれています。運転委員会では、自動車学校や先進的に取り組んでいる富山県リハビリテーション病院、富山西リハビリテーション病院の先生方と、連携ツールの検討を進めています。認知症委員会では、若年性認知症の会と新たに連携を開始し、外出制限があるなか、“自律”した生活にいかに関与できるか、作業療法士としての技を発揮しています。

県士会事業以外に目を向けてみると、地域ケア個別会議や介護予防事業等が、平時に近い形で再開されています。しかし、地域住民のなかには、感染症に対する正しい知識や対策がまだ浸透しておらず、作業療法士が指導する機会もみられます。その他、多方面から、作業療法士の取り組みについてお話しさせていただくことが増えています。今後益々、作業療法士が持ち合わせている幅広い知識と、それを活かした取り組み求められると感じています。

以上のように、それぞれの意味と新たな在り方を考えながら、我々は歩みを止めるわけにはいきません。新たな社会、新たな県士会とはどうあるべきかを見据えた取り組み行っていきたいと考えています。

日本作業療法士協会HP 一般向け特設ページ

http://www.jaot.or.jp/jaot_for_covid19

独立行政法人製品評価技術基盤機構 新型コロナウイルスに有効な界面活性剤が含まれている製品リスト

<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>

“OT福祉用具支援ネットワーク富山” の開設までの経緯と運用状況について

福祉用具支援事業委員会 太田 悠介（深川病院）

福祉用具はOTの得意分野の1つであると言われていますが、使い方を間違えると効果が発揮されず、事故につながったり、かえって負担をかけてしまうことがあります。また、環境によっても、導入した方が良いものは変わってくるため、アセスメント・モニタリングは重要となってきます。

導入すれば解決するものではない為、用具の特徴や正しい使い方を知る・他者に教えることが大変重要となります。このような点も含めて、当委員会では下記の2事業を行っています。1つ目は協会の『福祉用具相談支援システム』と、2つ目は県士会独自の“OT福祉用具支援ネットワーク富山”を事業として取り組んでいます。“OT福祉用具支援ネットワーク富山”はLINEオープンチャット機能を“場”として利用し、今年8月より運用しています。登録者数は11月時点で26名となっています。

『福祉用具相談支援システム』については、パンフレットを配布する、事例を紹介する等の活動も行っていますが、事例が増えない、県士会員に浸透しない等の課題がありました。また、昨年6月にOT協会と共催で開催した第19回IT機器レンタル事業「作業療法士が行うIT活用支援研修会」の後、気軽に情報収集や意見交換ができる場を作りたいという声も上がりました。そこで“OT福祉用具支援ネットワーク富山”が発足する事となりました。

ネットワークの利用には、個人を特定できないよう配慮をするなどのいくつかのルールはありますが、画像の共有やリアルタイムでやり取りが可能である事が特徴です。欲しい情報が素早く手に入る事、複数の方との意見交換ができることから選択の幅が広がる等のメリットがあり好評をいただいて

おります。

簡単ですが、事例を上げると、スライディングシートを使用しての移乗介助方法について質問があがると、その日の内に2名から情報提供があり、翌日にも新たに1名から情報提供があるといった形です。その他には視覚障害・認知機能低下者への移手段相談、片手で布マスクを縫われた方の紹介、入浴用装具相談、衣服の改造相談、リハビリ器具のメンテナンス相談、指サックの紹介、接着剤の相談、ポジショニング相談、移乗用リフトの効果について相談などがありました。

福祉用具導入等で迷われたり、福祉用具に関する情報を求めておられる方は、是非ネットワークをご利用ください。頼りになる経験豊富なメンバーや、多くの登録者・助言者が集っております。些細な事でも、聞き辛いや感じる事でも匿名なので気軽に聞くことが出来る事もメリットではないかと思います。登録や退出も自由です。利用までの流れは県士会ホームページにも掲載されておりますので確認をお願いします。

県士会員の研鑽につながるような情報・意見交換ができるように今後も取り組んでいきたいと思っています。



運転と作業療法委員会の活動報告

運転と作業療法委員会 中林 亜沙美（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

近年、高齢者や疾病後の自動車運転はニュースで取り上げられる機会が増え、世間からも注目を集めています。そのため、本邦の運転を取り巻く環境や考え方、制度なども変化し続けています。

富山県の1世帯当たりの自動車保有台数は全国的に見ても多く、自動車運転は生活を支える手段として必須といっても過言ではありません。自動車運転は、「認知・予測・判断・操作」を繰り返す複合的な課題であり、様々な手段の日常生活動作の中でも最も課題難易度の高い活動の1つです。更に、社会的な責任を伴う作業です。それゆえ運転支援に関わる作業療法士（OT）は、その支援について相応の知識・技術を持ち、医師や関連他職種と共に対象者が運転を行う利益および不利益を十分検討した上で、慎重に評価・指導を行う必要があります。

「運転と作業療法委員会」は、日本作業療法士協会からの要望で、2018年2月に発足しました。本委員会の目的は、①運転支援関係者（公安委員会、自動車教習所、行政等）にOTという職種を知ってもらうこと、②県内のOTが運転支援を行いやすい体制をつくること、③県内のOTが運転に関する知識を得る機会をつくることです。現在、委員会メンバーは12名で構成されており、最近では運転支援に関心の高い県内の医師2名にもご協力を頂いています。

現在、委員会で取り組んでいる事業内容は主に2つです。1つ目は、県内のOTに運転支援の知識や情報を提供する取り組みです。具体的には、運転支援に携わる機会の少ない作業療法士や若手作業療法士を対象に、運転支援に関する知識の底上げを目的としたパンフレットを作成しています。パンフレットを作成した後は県士会を通して周知を図っていく予定です。また、運転支援に関する講習会を計画・開催しています。令和元年12月の講習会では、県内の5病院の支援の取り組みの紹介や、公安委員会の方を講師に招いて法制度や臨時適性検査について話をいただきました。皆さんが必要としている情報を提供し、知識をアップデートできるような内容を発信する機会を作っていきたいと考えています。

2つ目は、自動車教習所との連携です。現在、「病院-教習所間連携シート（脳損傷者用）」を、一部の自動車教習所と共同して作成しています。連携シートを活用することで教習所への実車評価依頼を円滑に行え、医療評価と実車評価の両方から包括的に対象者の運転能力を捉えることができる利点があると考えています。

最近ではZOOMによるリモート会議を開催し、OT以外の職種の方々とも意見交換を重ねています。運転支援は個別性に富み、悩むことや苦慮することが沢山あると思います。皆さんの運転支援における課題がなるべく解消できるよう活動に取り組んでいきたいと思っています。そして、県内の運転支援の在り方を一緒に考えていけたら幸いです。

きつときと新聞休刊のお知らせ

新型コロナウイルス流行により新聞会議開催が困難なためきつときと新聞冬号は休刊とさせていただきます。

令和2年度災害情報伝達訓練を終えて（結果報告）

災害リハビリテーション委員会 高林 一彦（アルカディア氷見）

災害情報伝達訓練は、9月25日(金)11時より行われ、今年度で第4回目となりました。また、昨年に引き続き日本作業療法士協会で行う災害訓練に参加して、全士会一斉に行われました。

今年より連絡形式は、連絡網を使用せずメーリングリスト（以下MLと略す）登録者に災害連絡を入れ、折り返しフォームに情報を登録してもらう形式で、翌日19時を持って終了としました。

災害訓練時点で士会員666名のうちML登録者が、233名（35％）の状態、急遽MLに登録されていない方もホームページより登録できるようにして呼びかけましたが、事前のお知らせ配布ができなかった不備もあり、なかなか浸透が難しかったかと反省しております。

結果としましては、ML登録者233名中124名（53％）から連絡をいただきました。病院・施設勤務者からの連絡が113名（全会員の19％）自宅会員からの連絡が11名（全自宅会員の42％）。また、県内病院・施設174施設中の被害状況把握は76施設（44％）という結果となりました。（表1参照）

地区別には、高岡地区(38名、20施設)新川地区(16名、10施設)砺波地区(15名、11施設)富山地区(44名、35施設)の連絡をいただいております。富山地区が最も多い数とはなっていますが、県内の約半数の会員が占めることを考えますと決して高くない数字です。高岡地区で連絡数に比べて病院・施設把握数が伸び悩んだのは、同一病院・施設からの連絡数が多く、連絡に偏りがあったことが原因でした。（表2参照）

病院・施設連絡件数年度別推移は、昨年度の101件60％の把握率をピークに、今年度76件44％の把握率と初めて低下する結果となりました。（表3参照）

しかしながら、実際の災害を想定しますと昨年度までのようなFAXでの情報収集は時間がかかり、通信不全に陥りやすいという欠点があります。したがって将来的にもMLを活用しての情報収集

率を上げていきたいと考えています。

この情報は会員の安否及び県内の被害状況を把握し、早急に士会としての対応を決定していく大きな材料となります。

そのためにも、MLに登録されていない会員の皆様には是非登録していただき、災害への備えの1つとして考えていただきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

なお、今年度より毎年県士会内でも災害研修会を開催し、富山県大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（略称：富山JRAT）でも毎年研修会を企画しております。

会員の皆様には、広く地域での防災活動にも目を向け、県民として作業療法士として災害に対してどのように備え、どのように活動していくべきかを共に考えていってもらいたいと思います。

表1

令和2年10月現在	総数	連絡数	連絡比率（％）
会員	666名	124名	19
病院・施設	174施設	76施設	44
病院・施設者会員	640名	113名	18
自宅会員	26名	11名	42
ML登録者	233名	124名	53

表2

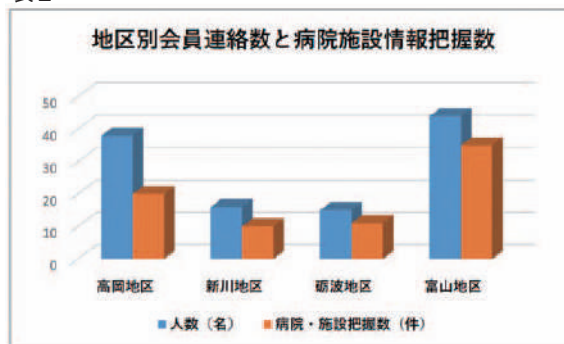
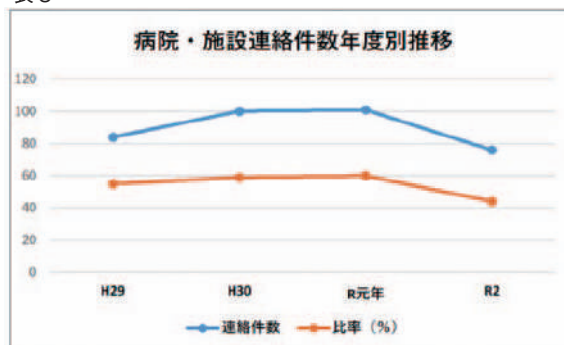


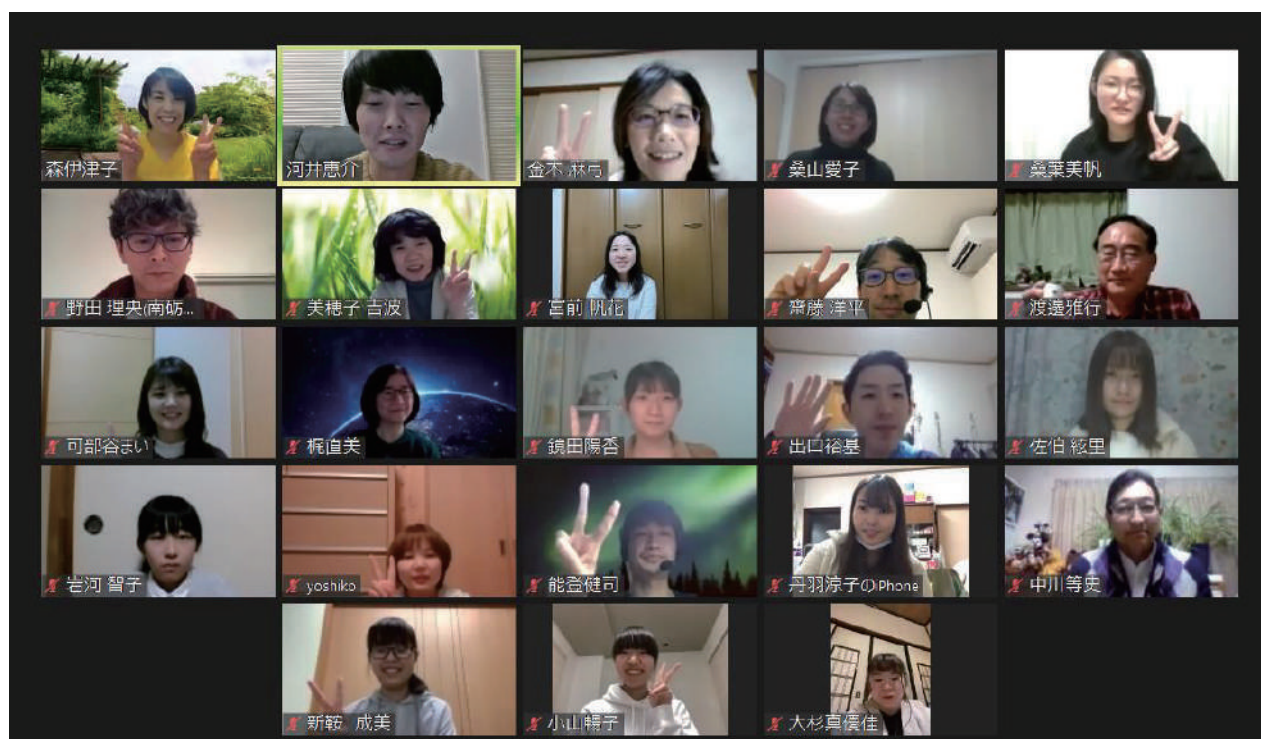
表3



ご報告！「オンライン新人交流会」

福利厚生部 河井 恵介（厚生連高岡病院） 金木 麻弓（グリーンヒルズ若草病院）

新企画！「オンライン新人交流会」を開催しました。当日の様子やアンケート結果をご報告いたします。2020年11月28日（土）20時開始、参加者は23名で、うち新入会員は12名でした。Zoomアプリを使用したオンラインで、10分前に入室し、Zoomの簡単な説明の後、各々で乾杯の準備をしていただきました。



マスクなしで会話できる貴重な時間となりました。ご参加ありがとうございました。

参加者からのご感想

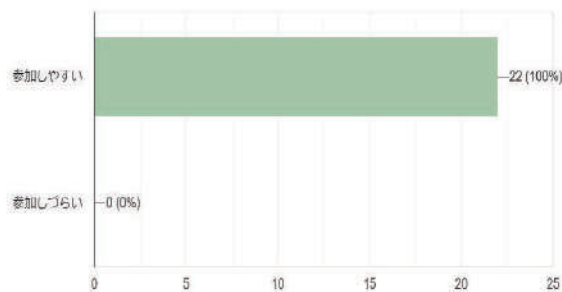
- ・交流会は対面でしたいなと個人的には思うがこの状況下では仕方ない
- ・会長の公演最高でした
- ・対面だと緊張してしまいましたが、オンラインでリラックスして参加できた
- ・歓迎会の内容、時間配分、事前質問を受けるなど良かった
- ・自宅から参加できるので、参加しやすかったです
- ・参加に対して緊張し過ぎず、自宅での参加はちょうど良かったです
- ・1つの質問を共有することができて良かった。顔がずっと見えるのがいい
- ・他の病院の方と関わる機会がなく、新人の方を知る機会となり良かった
- ・質問コーナーがとても参考になりました
- ・他の病院の方のお話を聞く機会がなかったので良い機会となりました
- ・新人さんの質問が生の声が聞けて何を感じているのかがわかり良かった
- ・繋がりが広がって良いと思います。1回だけでは、寂しい様な感じでした
- ・オンラインでも新入会員の歓迎会を行うことに大きな意義を感じます
- ・今後どのように勉強や研修会に参加すれば良いか少し分かった気がします

ご報告！「オンライン新人交流会」

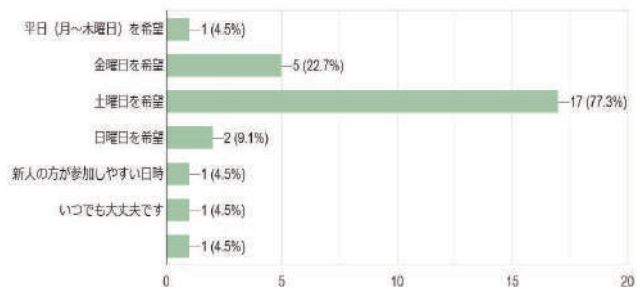
■ご報告！「オンライン新人交流会」

オンライン新人交流会アンケート

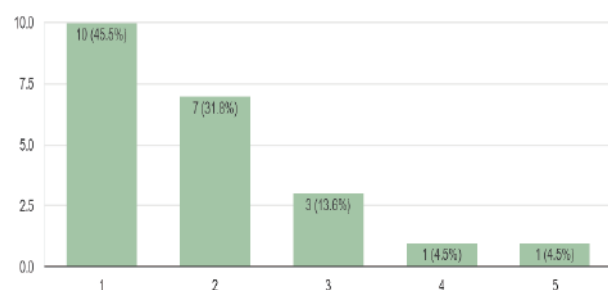
オンライン新人交流会 開催形式について
22件の回答



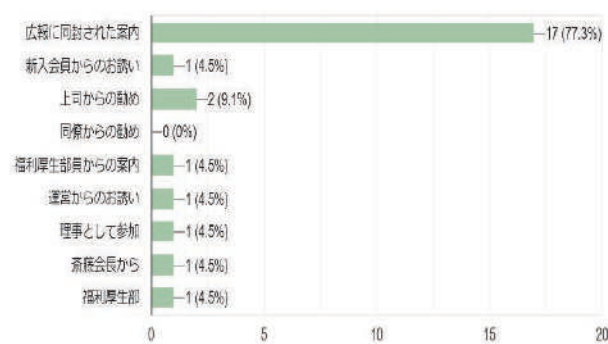
オンライン新人交流会の開催日時について
22件の回答



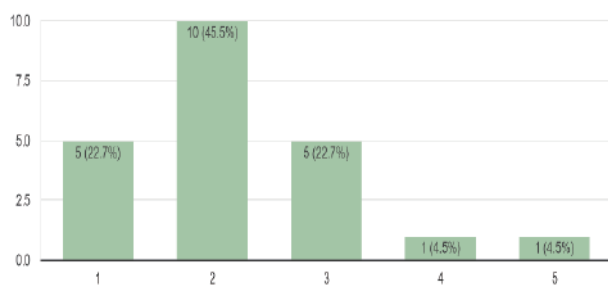
新人交流会の内容についてご感想をお聞かせください(1とても良かった 5良くなかった)
22件の回答



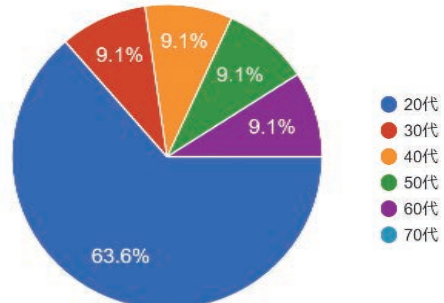
今回の研修会を何で知りましたか？
22件の回答



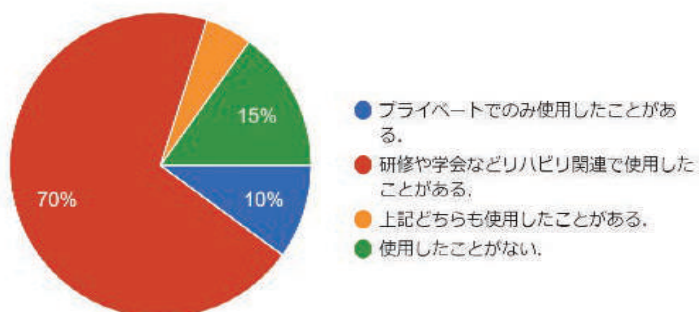
オンラインでの新人交流会のご感想をお聞かせください(1とても良かった 5良くなかった)
22件の回答



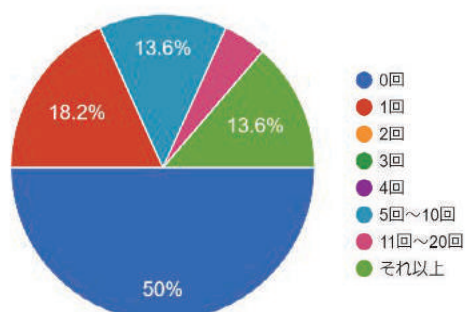
年齢
22件の回答



今までにZOOMを使用したことがありますか
20件の回答



過去の県士会活動や研修会の参加回数
22件の回答



■ご報告！「オンライン新人交流会」

■ご報告！「オンライン新人交流会」

「オンライン新人交流会」の主な内容は、①齋藤県士会長による講演「これからの作業療法」、②新入会員の自己紹介、③質問コーナーでした。

①では、「今、OTに求められていること」「リハビリテーション、OTの法的解釈」「OTの定義とMTDLP」「OTが安心して働けるために日本作業療法士協会や県士会ができること」等の話題がありました。中でも、「難しい時代こそ原点に立ち返ろう！」「その人らしく一生、住み慣れた地域で安全に生活できるよう皆で関わっていくことが大事」とのお話は肝に銘じます。

②では、所属とお名前のほかに、職場の事や趣味、休日の過ごし方など紹介いただきました。ひとりの紹介が終わると、皆さんが拍手や笑顔で反応されます。12名の自己紹介が終わったころには、和やかな雰囲気になったようです。

③では、事前にお聞きした質問を紹介し、参加して下さった理事や先生方に回答していただきました。端的に、適切なお答えをいただいたため、当初の予想より、多くの質問に対応することが出来ました。また、理事や先生方の人柄を感じられた時間でもありました。

閉会の言葉では森理事より「何より尊いのは人と人のつながり」とのお話をいただきました。人は、人とのつながりによって支えられていることを、大切にしていきたいと思います。

困難な状況は続いていますが、県士会員同士のつながりが、さらに広がり、深まってほしいと願っています。

開催するにあたりご協力いただいた皆様、ご参加くださった皆様、関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

■福利厚生部より、新事業のお知らせ

メディカルオンラインのトライアルを実施します！

メディカルオンラインは、医学文献の検索・全文閲覧、及び文献全文ダウンロード提供をする医療総合Webサイトです。ぜひこの機会に利用してください。

トライアル期間：2021年2月22日(月)～2021年3月22日(月)

ログイン 画面：<http://www.medicalonline.jp/>

※ID／パスワード認証方式です。利用を希望される場合は、ID／パスワードをお伝えしますので、2月15日(月)までにtoyamaOTfukurikousei@gmail.com 釈永（グリーンヒルズ若草病院）にメールください。本文には①氏名 ②所属が必要です。

※人数に規定はありませんが、利用は希望された県士会員に限ります。

※通常の使い方の範囲を超えた大量ダウンロードは禁止されています。不正があった場合は利用停止となりますので、ご注意ください。

県士会ニュース前号のお詫びと訂正のお願い

前号（第134号）P12の『富山県士会メーリングリストへの登録のお願い』の文章内に記載してあるメールアドレスが間違っておりました。

誤：toyama-ot@google.groups.com

正：toyama-ot@googlegroups.com

ですので、訂正しお詫び申し上げます。

会員リレーコラム



南砺市民病院
野田 理央

県士会員の皆様こんにちは。南砺市民病院の野田です。厚生連高岡病院の河井さんからバトンを受け継ぎ、今回のコラムを担当させていただくことになりました。彼とは高校の同級生で、同じサッカー部に所属していました。第一印象は少し内気な人だなと感じましたが、実は非常に肝が据わっており、同級生20人くらいの前で当時好きだった女性に告白する度胸に感銘を受けました。結果はご想像にお任せします。河井さん甘酸っぱい思い出を掘り返してすみません。(笑)

さて私の話をすると、作業療法士として臨床11年目になり、富山市の老人保健施設で4年間勤務し、現在の南砺市民病院に移りました。どちらの職場でも人の環境に恵まれ、作業量療法

士としてのスキルだけではなく、社会性や趣味活動の幅を広げられたと思っています。最近では、齋藤会長や職場の先輩方とゴルフやイカ釣りをさせて頂きました。今後は県士会でも趣味を通じた同好会を作り、皆様と交流を深められる機会になればと感じています。また、昨年度は富山県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会の委員として齋藤会長や県士会理事の渡邊先生と事業を一緒にさせて頂きました。富山大学の教授や准教授、産総研の연구원の方々より助言を頂き、気がつくとい日をまたぐまで激論したこともありました。このプロジェクトを通じて一番感じたのは、職域を超えた人とのつながりの素晴らしさでした。今後、作業療法士の職域も病院や施設内にとどまらず、地域で活動することが求められるかと思います。その際は、人とのつながりを大切に、様々な職域の方や地域住民と協力していきましょう。

最後に、次のバトンは福利厚生部の前部長を務められていた済生会富山病院の作田さんへ渡したいと思っています。



かみいち総合病院
黒田 あずさ

県士会の皆さんこんにちは。上市町にあるかみいち総合病院に勤務している黒田あずさです。南中川病院の阪本さんからバトンを受け継ぎ、今回担当させていただきましたことになりました。阪本さんとは、富山医療福祉専門学校での同級生にあたります。現在働いている領域は異なりますが、定期的に連絡を取り仕事やプライベートの話をするなど交流をとっています。学生時代の同級生との交流は、それぞれの目指す作業療法士像へ近づくための良い刺激にもなり、貴重な時間と感じています。

現在、作業療法士となり2年目を終えようとしています。1年目より回復期病棟に勤務させていただき、「自立支援」「在宅復帰」を目的に支援を行っています。高齢化社会の中、独居生活をされている方を担当させて頂くことも多

く、家事動作や服薬などの生活管理面を含んだIADLへも重要視しながらリハビリさせて頂いている中で、改めて回復期病棟の作業療法士としての患者様への支援方法や関わり方にやりがいを感じるとともに、自分自身の知識不足も感じ、日々勉強・努力していきたいと思っています。私がリハビリの中で意識していることは、コミュニケーションです。患者様からの情報収集はもちろん、信頼関係を築くためにも日常会話を大切にしています。また、今もなお続く新型コロナウイルスによる様々な制限もあり、患者様がストレスを抱えないように接していきたいと思っています。

私の休日の趣味活動、気分転換としては、体を動かすことです。小さい頃よりソフトボールをしており、練習・試合に参加しています。また、職場の先輩の勧めから山登りにも興味を持ち、先輩方と一緒に登ったりしています。山頂で広大な自然の中、達成感とともに食べるご飯は、最高に美味しいです。

最後に、次のバトンは丸川病院の野坂綾華さんへ渡したいと思っています。

いきいきサポートセンターゆめは、七夕祭り
で有名な高岡市戸出町にあり、天然温泉と機能
訓練設備を備えた、定員30名のデイサービス、
20室の生活支援ハウスとして平成17年に開所し
ました。その後、デイサービスの定員を45名に
増員、更に平成29年からは事業対象者・要支援
者を対象とした通所型サービスA（定員15名）
も実施しています。また、開所当初から高岡市
の委託事業である介護予防教室（すこやか運動
教室）にも力を入れており、現在は介護予防・
日常生活支援総合事業（通所型サービスC）と
して年1回（3カ月・全12回）、OT、PTが
担当して行っています。

当施設には現在、OT 1 名、PT 1 名、看護師
（兼務）4 名が機能訓練指導員として在籍、更
に歯科衛生士 1 名がおり、協力して利用者の方
々に個別機能訓練、運動器機能向上訓練、口
腔機能向上訓練を提供しています。デイサービ
スの利用者の平均介護度は1.9と比較的介護度
の低い方が利用されていますが、最近は疾患の
回復期段階にある方や難治性・進行性疾患の方
の利用も増えており、デイサービスにおけるリ
ハビリ専門職の需要が高まっていることを感じ
ます。

当施設の母体である社会福祉法人戸出福祉会
には、他の事業所に4名のPTが所属しており
定期的に情報交換や勉強会、研修会を行って
います。しかし、今年は新型コロナウイルス感染



予防のため、しばらく開催を見合わせていまし
た。最近ではZOOMを使用した新しい形での
ミーティングや研修会を実施しており、他事業
所との交流が再び行えるようになりました。

当法人ではこれまで、特別養護老人ホームを
はじめ、認知症対応型デイサービス、地域密着
型デイサービス、小規模多機能型居宅介護など
幅広い事業展開を行ってきました。そして更に、
令和元年より「誰もが活躍できるまちづくり」
として、0歳から100歳まで楽しく安心して暮
らし続けることができる仕組みづくり、障害の
有無に関係なく同じサービスの享受ができる共
生社会の実現を目指した「戸出共創・共生まち
づくり事業」を進めています。まだまだ計画段
階の事業であるため、今後どのような事業展開
が行われるか、一職員としてもOTとしてもワ
クワクしています。「誰もが活躍できる」とい
うOTなら食いつきたくなるであろうこの新事
業において、OTの活躍の場が広がって行ける
のではないかと期待しています。



トレーニング機器使用後は消毒!



すこやか運動教室

◇地域活動実績報告のご協力ありがとうございます

介護予防教室や地域ケア会議、出前講座やサロン活動など地域包括ケアシステムに寄与する活動に携わっている県士会員は着実に増えてきています。皆さまから寄せられた実績は、健康教室や介護予防教室、地域ケア会議、認知症予防関連の講座や講習会、認知症初期集中支援、認知症カフェ、集いの場支援、RUM伴、家族介護支援、各種家族会との連携、訪問C、施設間の指導に関わる連携、その他の講師派遣などの項目に分けて年回数と参加人数や総派遣数を集計し、富山県士会のOTの地域包括ケアシステムへの参画状況の指標としてOT協会へ報告されています。

◇地域活動実績報告と資料提供をお待ちしています

現在コロナ禍で地域支援に関わる活動数は減少していることが予測されますが、活動に関わられた際には県士会HP上への実績報告と、活動に際し作成して使用した資料の共有に是非ご協力下さい。地域包括ケアシステムは高齢者だけが対象ではなく、心身に障害をもつ人や子どもを含め地域で暮らす全ての人にとって関わりのある仕組みです。高齢者支援に限らず、発達分野や精神分野の地域支援についても皆さまからの多くの報告をお待ちしています。

◇HPをご活用ください

県士会HP上ではこれまでの報告内容や地域活動で使用された資料、地域包括ケアに関する最近の協会研修会の資料などの閲覧が可能です。実績報告や資料の閲覧に必要なIDとパスワードはいずれも【tiiki】です。

また、OTが地域に有用な専門職としてより一層認知され、活用してもらえるように、市町村や地域包括支援センターへ向けたパンフレットを2種作成しました。「フレイル予防」に関しては地域住民へも配布し活用してもらえることを想定しており、県士会HP上から自由にダウンロードが可能になっています。今後もHPを活用し様々な情報集約や発信をしていく予定です。皆さまも是非活用ください。

(一社) 富山県作業療法士会

**地域包括ケアシステム推進に
作業療法士 (OT) をご活用ください**

各地区の市町村担当所属施設と連絡先 (2020年11月現在)

【高岡圏域】	【富山圏域】
高岡市：済生会 高岡病院 (谷口) ☎0766-21-0570	富山市：富山城南温泉病院 (清水) ☎076-491-3366
射水市：真生会 富山病院 (佐賀) ☎0766-52-2156	(アドバイザー全11名)
氷見市：金沢医科大学氷見市民病院 (藤井) ☎0766-74-1900	
(アドバイザー全9名)	

お気軽にご相談ください

作業療法士

【砺波圏域】	【新川圏域】
砺波市：砺波誠友病院 (水上) ☎0763-33-7766	朝日町：あさひ総合病院 (大平) ☎0765-83-1160
小矢部市：にしんの老人保健施設 (北田) ☎0766-67-4430	入善町：丸川病院 (橋) ☎0765-72-5150
南砺市：南砺市民病院 (寶藤) ☎0763-82-1475	黒部市：老健カリエール (水島) ☎0765-54-2213
(アドバイザー全10名)	魚津市：魚津緑ヶ丘病院 (中山) ☎0765-22-1567
	滑川市：富山医療福祉専門学校 (吉波) ☎076-476-0707
	上市町：かみいち総合病院 (熊登) ☎076-472-1212
	立山町：間上 舟橋村：間上 (アドバイザー全7名)

100歳まで元気 富山県作業療法士会は応援します

**生活不活発病にならない
フレイルにならない**

生活不活発病とは…

「動かない」(生活が不活発な)状態が続くことで、**心身の機能が低下して**、「動けなくなる」ことをいいます。

特に高齢の方や持病のある方は、「生活不活発」を起こしやすい状況にあり、「**フレイル**」のリスクが高まることが懸念されています。

フレイルとは…

加齢に伴い、筋力、認知機能、社会とのつながりなどの「**心身の活力**」が低下し、入院や要介護の危険性が高まる状態です。

生活不活発病・フレイルは負の連鎖で起こり、進行します。

生活不活発病の予防・改善の鍵は「生活の活発化」

生活不活発病ではただ筋力低下などの改善や、出来るだけ体を動かせばよいというわけではありません。一番望ましいのは、その人らしい、活動的で生きがいのある「**活発な生活**」を送ることです。そうすれば、生活不活発病が起こる余地はなくなります。

後援をもつ 趣味をもつ 地域活動に参加する

これらの活動は、あなたと**社会・人をつなぎます**

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	石田美洋子	わらび学園	自宅	
異動	今井 彩乃	ヴィストカレッジ富山県庁前	ヴィストカレッジ富山環水公園前	
異動	大岡豊太郎	ヴィストキャリア富山中央	ヴィストカレッジ富山駅前	
異動	小澤 光子	富山医療福祉専門学校	呉陽病院	
異動	関原 明奈	自宅	川田病院	
異動	出村 晶子	自宅	富山協立病院	
異動	藤井 暁子	富山医療福祉専門学校	社会福祉法人ラッコハウス	
異動	森 欣一	富山医療福祉専門学校	自宅	
異動	柳原 理恵	富山市民病院	富山まちなか病院	
改姓	堂用安津子		アルペンリハビリテーション病院	旧姓 越田
退会	田口 豊浩	ケアポート庄川		

令和2年度 第5回理事会

日 時：令和2年9月14日（月） 19時より
出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、丸本、吉波
藤井、森、渡邊、能登、大平、丁子、
安本、小倉、橋爪

欠 席：小倉

書 記：丁子

《報告事項》

- 県士会関連事業
 - 災害リハビリテーション委員会
 - 9月25日に訓練実施予定。メーリング登録している会員が対象。
 - 認知症作業療法委員会
 - 9月26日 若年性認知症センターの支援（安本理事、中山氏 対応）
 - 11月21日：安本氏、河井氏 1月16日：河井氏、他1名 3月20日：2名
 - 教育部
 - 臨床実習指導者講習会
 - 12月19日、20日 定員40名にて開催予定。10月中旬申し込み期限。
 - 前は3.5日で開催したが、今回は2日間のWEBで計画。
 - その他
 - 生涯教育でオンラインの導入を検討中。他の委員会にもオンラインの導入を打診、検討中。
 - 1月16日、2月6日にzoomを使ったMTDLP事例検討会（能登）。
 - オンラインでの開催の場合、参加費の徴収方法などについて検討
 - 地域アドバイザー委員会

- 8月8日 OT協会従事者研修会参加。別紙報告書あり。
- 11月17日 県、地域包括支援センター協議会主催研修会にて齋藤講演
- リハビリ専門職協議会ホームページを通じて依頼有。OT士会担当変更
- 10月3日参加者は委員会にて検討中

5) 福祉用具支援事業委員会

- LINEオープンチャットによるOT福祉用具支援ネットワーク開設。資料別途あり。問題が解決されない場合、症例検討会等。16名登録。5件相談依頼あり。今後HPやメーリングリストで周知予定。
- 富山県ロボット協議会
 - 9月4日 日栄コーポレーション、NECネットアイ、ノースグラフィックにてハイブリッド会議。
 - チーム構成が決まり、次年度、何らかの助成金事業に応募の方向。

7) 東海北陸学会

- 7月24日 コンベンション主催研修会参加（水島、齋藤）
- 学会システムについて、NECネットアイとの協議予定。富山国際会議場のネット環境が整っているため、オンラインの学会導入について前向きに検討。

2. 協会関連事業

1) 47委員会

- 9月12日WEBにて開催。齋藤、梶氏1日参加。丁子理事午前のみ（講義）参加。別途報告書。

《検討事項》

- WEB会議など出席による日当などについて

- ・協会主催の47委員会や各種委員会会議はこれまで1名協会+1名県士会より支出。
 - ・協会からの支払いは無くなったが、県士会からの日当支給。
 - ・1日1000円、半日500円（日当の場合は源泉徴収外）
 - ・受け渡しは、対面機会の減少に伴い、半年もしくは年間一括で支払い。
 - ・各理事を通じて、報告書、会議名、参加者、日時、拘束時間等を島津事務局長へ連絡。
2. 福利厚生部
- ・11月28日 ZOOMによる新人交流会を開催予定（最大50名）20時から1時間程度。内容は、会長より、自己紹介、悩み相談、質問コーナーなど。河合氏、野田氏にて企画、運営。
 - ・コロナ禍において、会員への新たな還元方法について検討。（電子ジャーナル導入など）
3. 企普及指導部
- ・健康と長寿の祭典：合同会議の打ち合わせの件（9月中旬に調整予定（大平））
4. 事務局
- ・クレジットカード作成に伴い、口座開設。島津事務局長にて対応。
 - ・理事の登記手続き中。

令和2年度 第6回理事会

ZOOMによるWEB会議にて開催

日 時：令和2年10月12日（月） 19時より

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、丸本、吉波、藤井、森、能登、大平、丁子

欠 席：橋爪、渡邊、安本、小倉、

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 災害リハビリテーション委員会（別紙報告書参照）

9月25日に災害訓練として地震発生後の情報収集を県士会メーリングリストにより実施（高林氏）。

昨年度までのFAXよりも情報収集が迅速。メーリングリストの登録率が35%と低く、昨年度の回収率60%を下回る44%。

メーリングリスト登録者数増のために、メーリングリストでの配信を頻回にしていく。

メーリングリスト活用対策も講じていく（島津氏、塚田氏）。

2) 認知症作業療法委員会

9月26日土曜日 若年性認知症センターの支援

（安本理事、中山氏）

11月21日（安本氏、河井氏）、1月16日（河井氏、他1名）、3月20日（2名）の予定。

11月以降の内容は今後検討。

3) 教育部

(1) 臨床実習指導者講習会

12月19日、20日 定員40名にて開催予定。現在22名が登録済み。デイケアや精神科の参加者が少ないため声かけ。石川県士会は県助成金の活用。

県PT士会は、3月小集団にて開催予定。

OT協会より連携に関するアンケート依頼あり、能登理事対応。

(2) MTDLP

藤井暁子氏から山本皓太氏（アルペンリハ）に担当変更。

4) 地域アドバイザー委員会（別紙報告書参照）

10月3日に地域支援事業に資する人材育成研究会（WEB開催）（大平理事、中山氏参加）。

協会の地域包括ケアシステム推進委員会は、協会組織再編に伴い、常設化する予定（11月協会理事会で承認）。協会の流れを汲み、県士会においても組織再編を検討。

東海北信越ブロックでのグループワークで行動目標シートを作成し、10月12日にZoomにて発表予定（大平理事、赤尾氏担当）。

5) 介護ロボットニーズ・シーズ連携協議会

公益財団法人 富山県新世紀産業機構 ヘルスケア産業研究会でセミナー「介護現場での新しい取り組み

事例と今後必要となる福祉・介護技術について」より講演依頼あり、齋藤対応（11または12月の予定）。

6) 広報部

新理事および担当部署を変更した理事の名刺を作成する。名刺が不足している場合も作成。

予算は総務部より支出（見積り連絡のため）。

7) その他

(1) 主任介護支援専門員更新研修の受講要件に関わる該当研修

・10月16日メ切、齋藤会長返答

・ファシリテーターの経験者（いるもの）：臨床実習指導者研修会、MTDLP事例検討会

・2時間以上研修（マネジメント含むもの）：専門職協議会研修会、東海北陸作業療法学会

(2) 健康と長寿の祭典

・9月29日 ZoomによるWeb会議（谷越氏、大平氏、中山氏）。

・企画段階では普及指導事業部が担当。

- ・前日までの準備は、認知症作業療法委員会、地域アドバイザー委員会も加わった3委員会で担当。
- ・当日は認知症に関する内容の需要が高いことから認知症委員会がメイン担当。
- ・内容によって、対応等を今後検討。
- ・10月13日リハ専門職協議会にて、運営についての相談。

(3) OT福祉用具支援ネットワーク富山

- ・メーリングリストにて参加の呼びかけ。8月の開設以降、登録者数・相談件数ともに増加。

2. 協会関連事業

1) コロナに関するアンケート

- ・メーリングにて周知済み

2) 第13回障害保健福祉領域における作業療法(士)の役割に関する意見交換会

- ・周知の依頼あり、HPおよびメーリングにて対応

《検討事項》

1. コロナに関する情報交換会

- ・理事会、または総務の予算にて12月または1月に実施予定

2. 次年度の年会費

- ・協会は会費の減額は行わず、県士会もこれに準ずる。
- ・県士会の目的にある「会員の研鑽」のための、中止、延期している研修会を可能なものから再開。(OT協会よりシラバス、プログラム等が決められているもの)

3. 全体会

- ・12月16日(水) Zoomにて開催。次年度の事業計画、事務連絡について報告。

令和2年度 第7回理事会

ZOOMによるWEB会議にて開催

日 時：令和2年11月9日(月) 19時より

出席者：齋藤、松岡、島津、丸本、吉波、藤井、森、渡邊、大平、丁子、安本、小倉

欠席：桐山、能登、橋爪

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育部

(1) 臨床実習指導者講習会

- ・12月19日、20日 定員40名にて開催。40名参加予定。
- ・11月29日、12月5日、12月13日に事前練習。今回より、新たにグーグルクラウド導入。

- ・昨年度と同じく学校協会より、今年度分25,000円あり。使用方法を検討中。

2) 地域アドバイザー委員会

- ・10月29日 全体会議。
- ・今年度中に研修会開催(1~2月予定・ZOOM) OT協会 三浦委員長に講師依頼済み。
- ・コロナ禍における地域での作業療法士の活動の報告
- ・地域包括支援センターへの啓発ポスターは、11月17日研修会にて配布予定。(コピー機は事務局) コピー機(カラーコピー機)はロボット事業から利用

3) 東海北陸作業療法学会

- ・10月23日 NECネットアイ・システムに関して相談(ZOOMのID複数必要、発券機等) ZOOMのIDは部屋割りに合わせ5つ程度。1つのID年間契約30,000円
- ・10月27日 準備委員会ミーティング。ハイブリッド学会に向けて。オンライン学会かハイブリッド学会か今後検討。ハイブリッド学会について情報収集。

4) リハビリテーション専門職協議会

- ・10月13日 ZOOMにて開催。ホームページの内容の見直し。協議会機能、役割の確認等。今後は研修会等で人材育成。来年3月に研修会開催予定あり。専門職協議会ホームページを参照。

5) 広報部

- ・担当塚田氏への依頼方法とメーリングの文面等について：タイトルや文面をわかりやすいものに。塚田氏へ依頼する際のタイトルや文面を依頼元にて作成。
- ・11月28日(土)新人交流会10名ほどの参加申し込みあり。理事、監事からの参加も依頼。
- ・メディカルオンライン契約：年間13万2,000円のため、契約前に無料トライアル実施。令和3年2月22日~3月22日の一ヶ月実施予定。

6) 運転委員会

- ・下半期の活動再開。
- ・11月19日 連携バス形式での運用を検討。医師(富山西リハ野上Dr 県リハ吉野Dr)にもご意見をいただいた後、自動車学校小林校長と協議。

7) 災害委員会

- ・10月30日 災害研修会ZOOMを2月7日に開催予定。講師古澤氏、グループディスカッション予定
- ・12月6日 OT協会災害研修会
- ・緊急時のメーリング運用について(塚田氏以外の発信元の検討)

8) 事務局

- ・コロナ禍における会員の自己研鑽としてオンライン研修企業との契約について：県士会は法人となり高額となる。今回は契約を見合わせる。

2. 協会関連事業

1) 新コンピューターシステムに関して

- ・2019年4月→2020年4月→2021年4月（予定）

2) チーム医療推進協議会2020年度研修会

- ・10月31日 YOUTUBEにて配信。齋藤会長参加。：コロナ下においてもチーム医療。多職種での協業。

《検討事項》

1. 総務に関する業務再編について

- ・別途資料参照。以下一部抜粋。3役と吉波理事にて検討。

①郵便物の管理について：富山市民病院へ届くようにするには郵便局に届出が必要。

②問い合わせはメール。その後、担当者よりメールや電話にてやり取り。窓口のメールアドレスを外部からも明確化。

例：年会費・富山市民病院。

教育関連・かみいち総合病院

③公文書・角印について

公文書を委員会や部で作成すると文書校正に

難渋。公文書の例文を参考に、事務・財務会や全体会で例文等の資料提示。公文書の発行記録必要。角印について：OT協会はデジタル印鑑。士会でもデジタル印鑑の採用検討。

2. 全体会に関して

- ・事前の12月2日19時より理事会を開催し、スケジュールと事業計画の確認

令和2年度 第8回理事会

ZOOMによるWEB会議にて開催

日 時：令和2年12月2日（水） 19時より

出席者：齋藤、松岡、島津、丸本、吉波、藤井、森、渡邊、大平、安本、小倉、能登（記録）

欠席：桐山、橋爪、丁字

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 生涯教育部

（1）臨床実習指導者講習会

- ・12月19日、20日 定員40名にて開催。39名参加予定。

- ・11月14日 生涯教育推進担当者会議 2名（森部長、能登理事）参加。報告書別途。

VISST

作品募集

ぜひご参加ください！

第3回
My Favorite 展

毎年、富山県内の病院やデイケアの作業療法などで制作した作品を展示する催しを開催して、今年で3度目となります。コロナ禍で見てもらう機会が少なかった作品など、是非ともご出品ください。職員の出品も大歓迎いたします！どなたでも参加できます。

お気軽にお問い合わせください！

応募内容

作品：絵画、手芸、貼り絵、写真、書道 など
応募締切日：2021年2月13日[土]
参加費：無料
搬入：こちらから病院や施設に伺い作品をお預かりします。

連絡先：ヴィストキャリア富山中央
富山市神通本町2-2-16 アグロスタワー富山駅前1階
TEL: 076-471-8773 / FAX: 076-471-8774
E-mail: career.toyama.c@visst.co.jp
担当：OT 横山・大岡

展覧会

開催日：2021年3月13日[土]
13:00～16:00
会場：ヴィストキャリア富山中央
ヴィストカレッジ富山駅前

当日アート体験

①ペーパービーズアート
②流木アート

※ご来場時に参加いただけます。
※感染予防対策を徹底しております。

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子

➡ 480円より

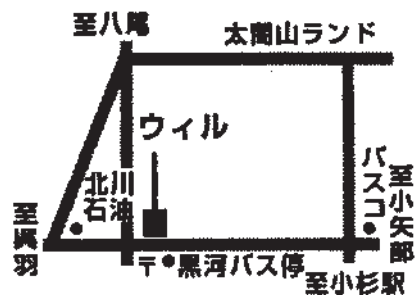
ベッド

➡ 700円より

リーズナブル



株式会社 **ウィル**
TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



PT・OT・STのための総合オンラインセミナー



どこでも視聴できる

オンデマンドでいつでもどこでも視聴可能!

充実のコンテンツ

毎月新動画を配信予定!

定額見放題

定額制だから何を見ても何時間見ても安心!

豪華講師陣

各分野のスペシャリストが分かりやすく解説!

個人会員 (1アカウント)

月額1,983円~

※表示料金は税抜料金です。

※法人会員向けのプランについてはHPをご覧ください。

臨床・研修・マネジメント 全てのヒントがここにある 年間200本以上を配信予定!!

毎月OT向けコンテンツを複数配信!

2月6日(土)

子どもの行動を理解しよう!
感覚統合理論の活用と具体的支援法

酒井 康年 OT うめだ形保の学園 副園長、地域支援部 部長、児童発達支援管理責任者

2月13日(土) 3月6日(土)

脳卒中後の目標設定 (ゴール設定) の考え方 (仮)
＜前編・後編＞

竹林 崇 OT 大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻 教授

3月13日(土)

精神疾患の疾患別特徴とアプローチ
思春期における精神疾患症状への支援

長島 泉 OT 杏林大学 作業療法学科 助教

佐藤 俊之 OT 三軒茶屋診療所

3月20日(土)

精神疾患の疾患別特徴とアプローチ
依存症のある方への支援とプログラム

佐藤 嘉孝 OT 岡山県精神科医療センター

4月10日(土)

痙攣の治療戦略～臨床での医師の視点を理解する～ (仮)

竹林 成典 Dr. 名古屋セントラル病院 脳神経外科 主任医長

5月8日(土)

新しい老年医学の考え方
～よりよく生きるための医療～＜前編＞

佐々木 淳 Dr. 医療法人社団徳信会 理事長、診療部長

2月6日(土)

中堅リハスタッフのキャリアデザインを考える
～30代からの働き方とキャリア構築について～

細川 寛将 OT 株式会社エス・エム・エス 東海北陸拠点 事務所長

2月20日(土)

図解説明を通して学ぶ! 作業療法士のための
中枢神経疾患へのアプローチ～立ち上がり編～

河村 公裕 OT 弘進グループ リハビリ法人課長・作業療法士

3月13日(土)

学んでおきたいトゥレット症候群
～トゥレット症候群の定義と特性を理解し症状がある方への治療や支援について考える～

星野 恭子 Dr. 医療法人社団 昌仁会 瀬川記念小児神経学クリニック

3月27日(土) 4月10日(土)

精神疾患の疾患別特徴とアプローチ
不安障害・強迫性障害のある方への作業療法の視点＜前編・後編＞

織田 靖史 OT 廣立広徳大学 保健福祉学部作業療法学科 助教

4月17日(土)

精神疾患の疾患別特徴とアプローチ
統合失調症のある方への支援とプログラム

森元 隆文 OT 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 講師

5月29日(土)

脳卒中に対する臨床作業療法
～上肢機能から ADL・Activity ～＜全4回＞【第1回】

山本 伸一 OT 山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長 兼 作業療法長、作業療法士

これまでに配信された
全タイトルご視聴いただけます!

これなら分かるシーティング

～問題点の発見から解決までのプロセスをマスターする～

脳卒中後上肢麻痺に対する運動学習とCI療法

～基礎からの解説と実践～

片麻痺者の排泄及びその関連行為の分析と

自立への後援づけ＜前編・後編＞

～排泄・起居・更衣に必要な感覚情報と予測的姿勢制御の促進～

ボバース概念に基づいた中枢神経疾患への

アプローチの基本的な考え方＜前編・後編＞

～ボバース初学者のための、姿勢コントロールの考え方とその重要性～

明日からの臨床に活かす! 高次脳機能障害のある方の

ADL・IADLの診方と支援の実践

～症例検討を通して観察の視点を身に届けよう～

セラピストが見立てる就労支援のあり方

～基礎から学ぶ支援の仕組みとアセスメント技法～

終末期を迎えた対象者に対する

リハビリテーション＜前編・後編＞

～最後に寄り添うケアのあり方と支える技術～

認知症・痴呆後の生活を支えるリハビリテーション＜全3回＞

【第1回】これだけは知っておきたい認知症のキホン

～最新知識に今すぐアップデート!～

【第2回】新たな認知症のリハビリテーション・ケア

～セラピストとしてのアセスメント・支援の考え方～

【第3回】認知症の人の生活を支えるリハビリテーション(実践編)

～地域でhappyに暮らすために～

「その人らしさ」を考える! 認知症のある方への

リハビリテーション＜前編・後編＞

～認知症コミュニケーションの考え方・ADL・IADL支援、終末期のQOLまで～

実践に活かす! 臨床動作分析につなげる

アフォーダンス理論＜前編・後編＞

精神疾患の疾患別特徴とアプローチ

うつ病、双極性障害の特徴と作業療法

図解説明を通して学ぶ! 作業療法士のための

中枢神経疾患へのアプローチ

～後編より、起き上がり編～

※敬称略 ※社会状況により予告なく変更となる場合がございます。

リハビリテーションを
『かたち』にする会社



株式会社 gene
セミナー事業部

〒461-0004 愛知県名古屋市中区栄1-26-12 IKKO新栄ビル6階

052-325-6611

最新情報、お申込みはこちら

<https://www.gene-llc.jp/rehanome/>

リハノメ

検索



- 県士会の対応として、前年度までの研修等の捺印は、生涯教育部まで。今年度の参加実績は森部長、能登まで送付。
- 2) 地域アドバイザー委員会
- ・12月5日 地域包括セミナー パンフレット増刷 両面A4 170部済み 15市町村分配布予定 (HPにも掲載済み)
 - ・1月16日 研修会開催 (多職種への声掛け)
 - ・11月17日 地域包括支援センター在宅介護支援センター協議会研修会にて齋藤会長講演。県士会パンフレット配布
- 3) 東海北陸作業療法学会
- ・11月25日 準備委員会開催。協会連携研修会試行予定。ハイブリッド学会の検討 (詳細未定)
 - ・ポスター、チラシは共催等の案配で早めに検作成。一部オンラインの場合は、配信に関する費用の確認。
- 4) 運転委員会
- ・11月19日 医師を交えた意見交換会開催。連携パス様の様式について検討。
 - ・12月9日 自動車学校との意見交換会予定。
- 5) 渉外部
- ・富山市 介護保険審査員に高柳氏を推薦
- 6) 福利厚生部
- ・11月28日 23名 (内新規会員12名) での交流会をZOOMにて開催。アンケート結果良好。
 - ・次年度もこのスタイルを前提に計画立案。
- 7) 富山県リハビリテーション専門職協議会
- ・今年度の研修会2月14日、3月14日に介護予防事業と地域ケア会議について開催予定
- 8) 認知症作業療法委員会
- ・11月21日 若年性認知症患者の本人と家族の会に2名参加
 - ・次回 1月16日予定 (参加者を検討中)
 - ・3月7日 認知症アップデート研修会基礎編をwebにて開催予定
2. 協会関連事業
- 1) 訪問看護ステーションに関する署名活動
- ・1次締切11月30日。予備メ切12月6日

《検討事項》

全体会に関して

- ・会長挨拶、財務報告、事業計画案、事務連絡について
 - ・事業計画案について確認
- 総務部：業務分散、福利厚生部：メディカルオンライン試用、普及指導部：体験会の開催方法変更に伴う発表の質の担保、場所・内容 (コロナの影響) について検討、保険委員会：改定に

ついでのお知らせ 等

- ・東海北陸作業療法学会については各部協力
2. WEBによる研修会参加費
- ・職能団体が行う研修会として、無料は質が軽視される可能性あり。経費を考慮の上、参加費設定
 - ・協会指定のものは、各県の状況も確認。
 - ・協会員ではない、士会員ではない場合の参加者の扱いについて再確認必要。

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名(代表者)	住 所
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (学長 前島 伸一郎)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (校長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
富山医療福祉専門学校 (学校長 長谷川 成樹)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001

編 集 後 記

新しい年が始まりました。昨年はコロナで生活が変化し、私たちOTの働き方も大きく変わったと思います。消毒や換気など大変なことも増えたり、また、マスクの着脱などこれまでにないADL動作？も視野に入れた訓練も考えたりと時代のニーズに合わせたOT内容も求められるようになったかもしれませんね。しかし、研修会などがWEB開催などになり、子育て中など時間が取れない人にとって勉強しやすいといった利点もあったかと思います。

新しい時が皆様にとってより良い一年になりますように。
(S.N)